

いながわ

議会だより

第**110**号

平成16年(2004年)2月4日

発行：猪名川町議会

編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡

猪名川町上野字北畑11-1

TEL(072)766-8710



阪神広域防災訓練・猪名川町防災総合訓練を実施(つつしが丘)

決算を認定／わたしたちのお金 どう使われたの？ **2**

議案審議／高規格救急車3台に **4**

委員会の活動報告／総合福祉センターに向けて条例の整備 **6**

一般質問／9人が町の考えを聞く **8**

研究会に参加・こどもたちの声 **13**

編集後記 **14**

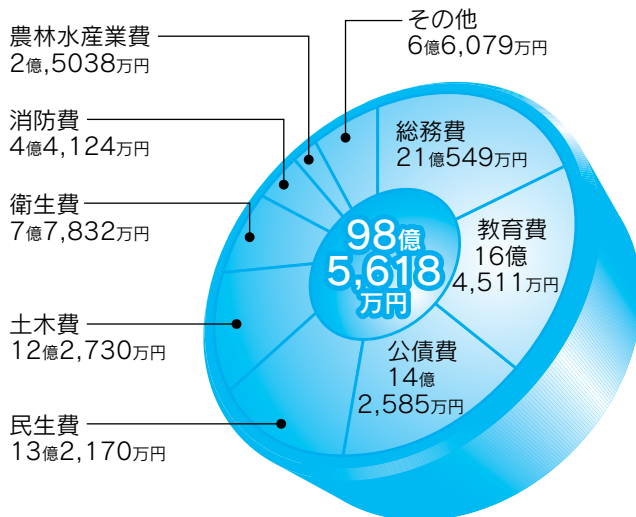
決算を認定

総額

151億3,354万円

のお金 どう使われたの?

〈一般会計 歳出内訳〉



14年度決算は、10月臨時会で一般会計・特別会計決算特別委員会を設置。3日間慎重に審査し、12月定例会初日に両委員長から一般会計、7特別会計とも「認定すべきもの」との報告を受け認定した。

なお、委員会でのおもな質疑は次のとおり。

一 般 会 計

〈歳入〉

- Q 歳入減、歳出増の状況下にあつて、将来への影響が予想されるが、どのように考えているのか。
- A 住民の参画と協働を前提に行財政改革を進め、健全化計画に見合ったサービスに努めたい。
- Q 徴収猶予、不納欠損は何件か。また、滞納への対応は。
- A 徴収猶予は数件、不納欠損数は141件。町税等収納向上対策会議を開き職員一丸で取り組んでいる。
- Q 寄付金の内訳は。
- A 鴻池組から4億円、いながわフレッシュユバから1千万円。
- Q いながわフレッシュユバークからの寄付行為は妥当か。
- A 商法に定められた適法な処分である。

〈歳出〉

★総務費

- Q 常任委員会での指摘事項が静思館運営審議会でどのように反映されたか。また、拝観料を取る考えは。
- A 登録文化財の指定など静思館の位置付け、利用頻度等検討している。拝観料は考えていない。
- Q ふれあいバスの運行、在り方についての考え方は。
- A 公共施設循環バスであるため、ルート検討、時短、利便の向上を目指す。
- Q 時間外勤務の多い課は、サービス残業はあるのか。
- A サービス残業が多い。サービス残業はない。
- Q 木津駐在所移設後の効果は。
- A 県道沿いに移設した効果は大きいと判断している。

★民生費

- Q 緊急通報システムは近隣の協力が必要と思われるか。
- A 民生委員、福祉委員及び消防で対応している。
- Q 乳児医療(0歳児)の

- 無料化の考えは。
- A 県制度に準じて実施していく。
- Q 障害者福祉センター建設に際し関係団体と協議、調整をしたのか。
- A 基本設計の中で協議、調整を行ってきた。

★衛生費

- Q 合併浄化槽の補助件数減少の理由は。公費による管理の一元化は。
- A 設置困難地域、投資できない家庭もあり希望が減っている。公的関与の方向性を見出していきたい。
- Q 大腸ガン検診時の要精密検査者数は。1歳6ヵ月検診受診者の伸びが悪い理由は。
- A 要検者142名。内、ガン発見者数11名。乳児の対象者数の減による。
- Q 北部診療所の周辺整備計画はどのようにしているのか。また、今後の保健センターの在り方は。
- A 整備計画は総合的に勘案し、現在のものとなった。また、保健センターの改修は計画的に実施していく。
- Q し尿収集、処理は今

14年度 各会計決算状況

平成14年度 わたしたち

区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	101億1,919万6,353円	98億5,617万5,612円	2億6,302万741円	
特別会計	国民健康保険特別会計	14億5,731万6,224円	14億3,697万2,939円	2,034万3,285円
	介護保険特別会計	9億6,808万4,831円	9億5,374万554円	1,434万4,277円
	老人保健特別会計	18億5,009万7,399円	18億4,634万7,397円	375万2円
	農業共済特別会計	4,225万3,235円	2,498万6,128円	1,726万7,107円
	農林商工業振興資金特別会計	4,908万3,437円	1,070万円	3,838万3,437円
	下水道事業特別会計	15億546万1,351円	9億9,892万920円	5億654万431円
	奨学金特別会計	722万1,814円	570万円	152万1,814円
合計	159億9,871万4,644円	151億3,354万3,550円	8億6,517万1,094円	

後もっていくのか。
 (A) 下水道区域外もあり中止できない。
☆農林水産業費
 (Q) 今後の農業政策に対する考えは。
 (A) 担い手に対する施策、近代的な農業を両輪として推進していく。

☆土木費

(Q) 道路敷の所有権を主張する者への対応は。
 (A) これまでの経緯を説明し理解を得ている。
 (Q) 木間生旭ヶ丘線の現状は。
 (A) 地図訂正と15年度に用地の一部買収をする。

☆消防費

(Q) 救急の1日の最高出动回数は。また、誤作動による出动はどのようなものか。
 (A) 14年は8件。熱感知器等の誤作動による出动。

(Q) 阪神北部広域連携の検討結果は。
 (A) 特殊車両の保有、通信システムの共同化等長期的な課題として今後も検討する。

☆教育費

(Q) 総合的な学習や、いきいき学校応援事業等の効果、成果は。
 (A) 教科を超えた取り組みや生徒の社会参加等による体験学習は、貴重な経験となっている。

(Q) 小学校の計画営繕の位置付けと学校サポート員の活動内容、効果は。
 (A) 大規模な改修を前提に順次実施している。学校サポート員は、学校の安全管理、環境整備を行っており安心感につながっている。

(Q) 耐震診断の結果を踏まえての、楊津・大島小学校の対応は。
 (A) 両校共、施設整備が課題となっているが、地域の実態をふまえ検討する。

(Q) ひょうごこ子きょうだいにびりり事業等での異世代交流は。
 (A) 運動会、軽スポーツ等を通じて年代を超えた交流を行っている。

(Q) 多田銀銅山の活用は。また、広報の取り組みは。
 (A) 16年度に発掘が終わり、文化財として確認後、検討する。道標の設置、見学会などを実施している。

反対討論

厳しい財政状況であるが、執行の甘さ、木津駐在所の設置、県道改良への取り組み、生ごみ処理機、チャイルドシートのリサイクルの検討など予算委員会で改善を求めてきたが反映されていない。

賛成討論

厳しい財政状況の中、経常収支比率を見ても最低限の悪化にとどまっております。他の指数においても一部改善が見られる。また、住民のニーズをとらえ、広く福祉の向上に寄与する取り組みが行われたものと評価できる。

賛成多数で認定

特別会計

国民健康保険

Q 本町の国保税は他市町に比べ住民の負担が高く、一般会計からの繰入れは少ない。繰入れを増やせないか。また、短期被保険者証に対し資格証明書の割合が高いが。

A 国保制度は国費と保険税でまかなうのが原則。本町は黒字決算であり一時的に基金の対応もできるし、繰入れ以外の一般会計の繰入れも可能だが、国保会計で努力すべき。資格証明書の対応は各市町の事情がある。資格証明書の発行により納付相談を通じ納税を促し、負担の公平性を図っている。

Q 出産一時金を1万円でも上乗せできないか。

A 15年度の国保会計は、老人保健対象年令引き上げ等もあり依然苦しい。

反対討論
個人負担が高く一般会計繰り入れが低い。基金の運営も住民の視点にたつて見直しを行うべき。

賛成討論

国民健康保険を取りまく環境は厳しい状況にある中、国保税の徴収率の改善がなされ、健康診断事業などへの取り組みを評価。

(賛成多数で認定)

介護保険

Q 居宅介護住宅改修の内容と件数は。

A 手すりの取り付け91件、段差解消工事31件、引き戸への改修12件、洋式便器に変更5件である。

Q 介護相談員派遣の内

容は。

A 介護相談員は利用者の様々な声が苦情に至るまでの事前防止策として実施。月2回、民生委員2名、公募委員2名が施設に出向き、利用者の相談にのり、施設に直接いいにくい事等を聞き、施設と協議を行い改善を図る。

老人保健

Q レセプト点検従事者に120万円かかっているが、一般事務の中でできないか。

農業共済

A 1ヵ月11日間出勤。医療、薬剤、歯科の専門的知識が必要。職員でなく専門スタッフが必要と考える。

Q 水稲被害が少ない中で農業共済事業を続けるのか。

A 農業災害補償法により制度として10アール以上の作付けがあれば加入しなければならぬ。県下では一部事務組合の地域もある。合理化も含め県で検討しているが、しばらくは

下水道事業

現状のままで続けていく。

Q 下水道料金が高いと思うが現状はどうか。また、高利率の借り換え状況は。

A 下水道使用料では必要な費用の45.8%を回収している。交付税を加えても74.1%である。高資本対策が借り換え制度の条件となっており、本町は該当しない。

奨学金

Q 本会計は基金で運用されているが、基金を増額する考えはないか。

A 今後6〜7年で基金が不足すると考えられることから今後の課題と考えている。

(その他、農林商工業振興資金特別会計を含む6会計は全会一致で認定)

第319回

11月臨時会

第319回臨時会を11月26日に開会し、一般会計補正予算・職員の給与改正など4議案を、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決した。

専決処分を承認

一般会計補正予算
衆議院議員選挙費
1,312万1千円を増額
(国から県を通じ委託されたもの)

職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、職員の給与の一部を改正するもの。

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

特別職の給与のうち、期末手当を引き下げるもの。

議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

議会議員の報酬のうち、期末手当を引き下げるもの。

特別職・一般職・議員の期末手当支給月数

改定前	特別職			一般職		議員	
	6月	2.25月	4.60月	2.25月	4.65月	2.25月	4.65月
12月	2.35月		2.40月	4.65月	2.40月	4.65月	

改定後	特別職			一般職		議員	
	6月	2.10月	4.35月	2.10月	4.40月	2.10月	4.40月
12月	2.25月		2.30月	4.40月	2.30月	4.40月	

…お知らせ…
委員長の交代
11月26日付で議会議長に中島孝雄
運営委員長に中島孝雄
議員が就任した。

ひとくちメモ

「専決処分」
議会が成立しないときや議会を招集する暇がないとき等に、町長が議会に代わって議決すべき事件を処分すること。

町長が専決処分をした場合は、次の議会において報告をし、承認を求めなければならぬ。

第320回

12月定例会

第320回定例会を、12月10日から22日まで開会し、14年度の一般会計決算及び特別会計7会計の決算を認定した。また、人事案件2件、条例改正2件など10議案を慎重審議の結果いずれも原案どおり同意・可決した。

高規格救急車3台に 救命率アップを期待



▲装備の充実した高規格救急車



老朽化した静思館の長屋門▶

公平委員の 選任に同意

谷下圭右氏の選任に同意。任期は19年12月24日まで。

人権擁護委員候補 者の推薦に同意

眞田義人氏の推薦に同意。

西畑地区ほ場整備工事 請負変更契約の締結

事業費割当てを最大限に活用し、事業進捗の促進を図るため変更するもの。

契約金額
(変更前)

7,717万5,000円

(変更後)

8,305万3,950円

(補正予算の会計別補正額)

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	1億4,653万4千円増額	91億2,512万4千円
国民健康保険	1億5,943万8千円増額	16億5,211万8千円
介護保険	35万1千円増額	10億3,565万5千円
下水道事業	1,499万4千円増額	12億7,830万6千円

(補正予算のおもな内容)

★消防機械器具費約674万円増額

高規格救急車の寄贈を受けたことにより、救急処置に必要な装備を行うもの。一台増えることにより、救命率のアップが期待される。

★静思館 施設整備工事費800万円増額

長屋門の屋根瓦を修繕するもの。

国民健康保険条例の 一部改正

先物・株式取引を活性化させるため、取引に係る損失が当該年度に控除しきれない場合、3年間繰り越して控除できるようにするもの。

反対討論

①株式取引の低迷は政府自民党の経済政策失敗にある。

②国保税が払えない被保険者から保険証を取り上げる一方、株式取引のできる裕福な者を優遇するものである。

常任委員会

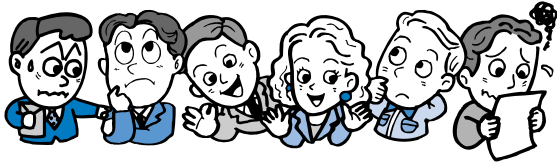
付託議案の審議結果

・国民健康保険条例の一部改正
(文教厚生常任委員会)

可決(賛成多数)

・福祉センター条例の一部改正
(文教厚生常任委員会)

可決(全会一致)



委員会の活動報告

総合福祉センターに向けて 条例の整備

12月12日、午後1時30分から委員会を開会。付託2議案を審査。

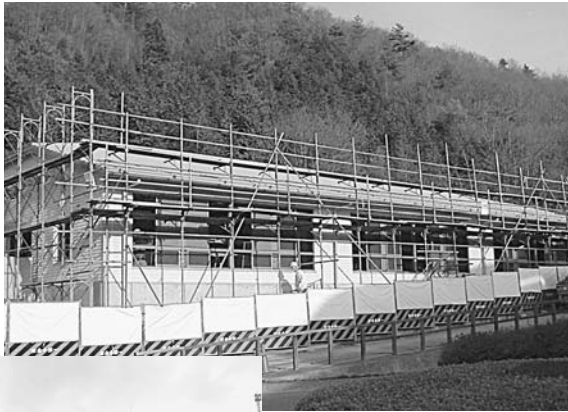
国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法での商品先物取引に係る雑所得等の課税の特例等の改正に伴い、国民健康保険税の賦課等に関する規定の整備を行うもの。

◎ 国保税に対し影響は、住民税で10件程度。国保税は数件で影響は少ない。

福祉センター条例の一部改正について

障害者福祉センターの整備に伴い、その位置付けを明確にするともに、現有の福祉センターの名



▲福祉の拠点として期待される建設中の障害者福祉センター



▼福祉センター

文教 厚生

称を猪名川町総合福祉センターに変更するもの。

◎ 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会と、財団法人猪名川ゆうあい福祉公社の一元化により、福祉サービスの低下にならないか。

また、その管理を公共的団体に委託することができるとあるが、公共的団体とは、福祉センターと障害者福祉センターの両方の施設を利用できるのか。

◎ 組織の一元化により、サービスが低下することのないよう努めたい。総合福祉センターの管理については、社会福祉協議会に委託したい。また、両施設は有効に活用できる。以上2議案について慎重審査の結果、いずれも全会一致で可決した。



先進地 視察レポート



福岡県芦屋町にて

学力向上 フロンティア 事業に学ぶ

15年12月1日

福岡県遠賀郡芦屋町
芦屋町教育委員会

「知・徳・体のバランスのとれた児童生徒」「多忙感を充実感にかえる熱意と工夫のある教師」「地域、保護者から信頼される学校」づくりを目的とした個性や能力を伸ばす教育、豊かな心を育む教育、社会の変化に対応した教育、教職員の意識改革と資質、力量の向上、開かれた教育行政などの推進について視察研修。

前原市社会福祉協議会の事業運営について

15年12月2日

福岡県前原市
福祉施設、社会福祉協議会の組織、職員体制の状況、介護保険事業、支援費事業など利用者ニーズに対応した居宅サービス事業、介護予防事業の推進と地域ケア会議機能の充実、小地域福祉活動の推進と校区社会福祉協議会の活動支援、福祉教育とボランティアの育成などについて視察研修。

一般質問に 対面方式を導入



議場の配置を見直し、12月定例会より、議員と行政側が対面で質疑を行う初の一般質問となりました。(写真参照)

従来は、議員は議長席前の演壇から質問内容をまとめて述べ、行政側が一度に答弁し、再質問は2回までという制限がありました。

今回は、議員側に作られた新しい演壇に立ち、質問時間50分(答弁含む)以内であれば、何回でも再質問が可能となりました。

より活発な論議ができるようになり、質問と答弁が多く繰り返されるなど、緊迫感が今まで以上につたわり、質疑が白熱する場面もありました。

対面式、一問一答方式は議会の活性化につながり、全国的にも採用するところが多くなる傾向にあります。

今後とも開かれた議会、分かりやすい議会を目指していきたいと思えます。

お知らせ

議会・委員会を 傍聴しませんか

議会では、みなさまの身近なことを論議しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に記入していただくだけで傍聴できます。

(本会議20名、委員会10名まで)

今後の議会日程

定例会の開会予定日は次のとおりです。
ただし、議事の都合により変更することがあります。

●3月定例会 2月25日～3月26日

日程については、ホームページでもご覧いただけます。

お問い合わせは議会事務局へ (TEL.766-8710)



一般質問

— 町の考えを聞く —

定例会第2日(12月17日)に、9名の議員が17項目について質問しました。質問(Q)と答弁(A)の要旨を掲載しています。

— 今回の質問者 —

- 福田長治 議員 ● 関口功男 議員 ● 池上哲男 議員 ● 小坂 正 議員 ● 新賀 保 議員
- 山崎福市 議員 ● 南 初男 議員 ● 福井澄榮 議員 ● 尾川悦子 議員



3市1町の阪神北部広域行政推進協議会



福田 長治 議員

Q 猪名川町の将来は

A 研究会を設置し将来像を考えている

問 宝塚・伊丹・川西・猪名川で3年間広域行政研究会を作り、消防・福祉などで成果はあったが、合併についての結論はどうか。

企画部長 合併も視野に入れ話し合ってきたが、合併には至らなかった。今後は住民の意見を聞きながら、国や県の動向を見て行きたい。

問 合併について他市との枠組みや、阪神間の中で話し合いはあったのか。

企画部長 阪神間では、各市長との話し合いや、他の働きかけはなかった。

問 合併が進まない今、一つの自治体として3万人を越えるまちづくりが大切では。

企画部長 人口問題は大切である。今、庁内で「町のあり方研究会」を設置し、町の将来像を考えている。

問 将来のまちづくりは、人口を一定の規模に保つこと。それと、若者の定着が大切。全国的に少子化が進んでいるが、施策はあるのか。

企画部長 若者の定着は必要である。特色があり、魅力あるまちづくりをするために、今後、開発会社とも話し合い考えていきたい。

Q 歴史街道として銀山の総合的な整備を

A 猪名川町歴史街道計画整備プランを策定



関口 功男 議員

問 国土交通省近畿整備局から「歴史街道モデル地区」として、猪名川町が50番目に認定された。猪名川町の歴史を見つめ直し、文化を生かす、歴史文化の魅力を楽しめる実感できる「親しみとぬくもりのあるまちづくり」をさらに目指さなければならない。

特に多田銀銅山は、奈良時代に東大寺大仏鑄造の銅を産出した伝承が残る等、誇るべき歴史が積みまわっている。すでに青木間歩等は整備されているが、銀山への進入口である県道交差点には標識がない。青木間歩への順路が分からない等の不備があり、歴史を求めに来た旅人は迷うばかりである。資料館設置を含め、総合的な整備を求める。

企画部長 猪名川町歴史街道計画整備プランを策定している。地域の資源を生かした観光ゾーンの形成等を主要項目としているが、中でも、彫刻の道、自然歩道から銀山区へを重点とし、本町のみならず日本の歴史的遺産として後世に引継いでいくことをねらいとして総合的に検討している。



銀山地区方向への標識を

Q プラスチックごみの収集回数増を

A 燃えるごみを週2回・プラを週1回で検討



池上 哲男 議員

問 プラスチックごみと不燃ごみの収集量の容積比率は。そして、不燃ごみの収集回数を減らし、その分

プラスチックごみを10日に1回収集できないか。

環境経済部長 プラスチックごみは不燃ごみの約3倍。プラスチックごみの収集回数増は①不燃ごみの収集回数を減らし、プラスチックに充てる②燃えるごみを週2回、プラスチックを週1回にする、の2通りで検討。②の方法がいいのではと考えている。10日に1回の収集は、現体制では不可能。

問 学童保育運営について
①長期休暇の時だけ



不燃ごみの3倍出るプラスチックごみ

月をまたいで10日間程あずけても2カ月分の保育料を払わなければならない。柔軟な対応を。②保育室によって施設整備に差がある。是正で公平にすべき。③冬季の保育時間延長を。
教育次長 ①日割り計算ということではできないが、検討する。②各学校の施設整備計画の中で、できるだけ改善していきたい。③保護者の迎えを前提として整理できれば、調整したい。



小坂 正 議員

Q いじめ・差別事件への取り組みは

A 人権教育の推進のため全力で取り組む

近年子どもを取り巻く環境は急速に変化し、子どもの虐待、体罰など健全な育成を阻害している事や、子どもの仲間はずし・言葉による暴力など「いじめ」、「差別」という問題にも直面し、時には、自殺に至るといふ深刻な状態も全国的には、

まだまだ後をたたないのが現状で、子どもにかかる新たな問題が生じている。

問 小・中学校における「いじめ」、「差別」事件における現状と取り組みは。

教育次長 児童・生徒が学校生活において、他人の心を傷つけるような言動や、集団生活の中で周りや相手に対する思いやりに欠ける行動をとることが時としてある。豊かな人間性の育成や温かいぬくもりに満ちた仲間づくりを通して、児童・生徒が差別や偏見の誤りに気づき、身近な人権に係る問題を主体的に解決する実践的な意欲や態度を培うことを目的とし、人権教育を推進するための全体計画や各領域の年間指導計画を作成し、人権尊重の学校文化の構築に向けて、全力をあげて取り組んでいる。

町発行の人権啓発の冊子



Q つつじが丘小学校の施設整備計画は

A 開発業者と協議を進め対応していく



新賀 保 議員

「教育」は「文化」の大地を潤し「平和」の大樹を地球上に青々と茂らせていく水脈となっていく。



教室不足が懸念されるつつじが丘小学校

問 つつじが丘小学校の今後の施設整備計画は。

教育次長 18年度で1学級分の教室が不足する。今後開発業者と協議し対応する。

問 町立幼稚園の3園体制の今後の考え方は。

教育次長 現状による運営を継続しながら、今後については総合的に検討を進めていく。

問 町立幼稚園を2年保育から3年保育に拡充する考えは。

教育次長 私立幼稚園と

の共生を考え、現行の2年保育を進めていく。

問 私立幼稚園への就園児に対し、保育料の補助金の交付を3歳児にまで拡大する考えは。

教育次長 今後の検討課題として取り組んでいく。

問 猪名川幼稚園送迎パスのコースを、柏梨田のハッピータウン前も組み入れることはできないか。

教育次長 現状では調整が困難だが、新年度に改めて検討を進めてみる。

Q 補助金支出の見直し改革を

A 効果・評価の現状を整理したい



山崎 福市 議員

問 補助金支出は住民感覚からみて、補助金団体・補助事業・補助金額・補助理由、効果等がわからない。

補助金は交付要綱に基づき、一般的に執行者の政治姿勢として聖域化の傾向から実践的な議論が少ない。補助金は一定の政策実現の手段であり、明確な方針、支出基準、効果測定等の評価が必要と考えるが。

総務部長 補助金については、行政改革の項目にもあげ実施しているが、その成果や効果が客観的に評価される仕組みは必要と認識している。公益性、公平性の面からさらなる透明性、実効性の課題もあるが、補助金支出の効果、評価については



各種団体の活動の様子

現状を整理して取り組むたい。

問 補助金は政策目標等の実現に有効な手段とは考えるが、必要性・有効性・達成可能度、経費削減等の角度から第3者機関の補助金支出審査委員会の設置は。

総務部長 所管での補助金内容の監査、新しく導入する会計システムによる事業評価の実施等、前段の整理も必要であり、直ちに第3者機関の設置は考えていない。



渋滞解消に向け工事が進められる紫台北ノ町交差点



南 初男 議員

Q 町道及び県道整備について

A 県、町交通安全対策検討会議等で協議

問 14年6月議会でも質問したが、紫台北ノ町交差点の渋滞の件及び屏風岩橋S字型の県道の整備は。林田から県道に出るカーブも改造改修を行ってきたが、抜本的な対策は。また、町道槻並長谷線の今後の管理は。

建設部長 北ノ町交差点

は県に精力的に要望を行い3月に完成する。北野バイパスは15年・16年で用地買収し、現在の工区の見途が付き次第「道の駅」までの区間に取りかかると聞いている。また、木津林田線の県道交差点も今後、県・町の交通安全対策検討会議で協議を進める。槻並長谷線は建設当時より地域住民の協力に感謝し、町として協力が得やすい取り組みをする。

問 合併特例法にタイムリミットがある。当局の対応は。また、期限後に新法とあるが。

企画部長 市町村合併について情報の提供や住民との対話を進め、国や県の市町村合併に対応し阪神北部広域行政推進協議会を発足。この協議会とは別に、本町が目指すべき将来像について国の動向を的確に把握し調査・研究している。

Q 広域で救命救急センターの早期設置を

A 整備できれば最高だが、障害もある



福井 澄榮議員

問 町民の命にかかわるいざという時の対応は万全か。医療・福祉教育が充実している所は人が魅力を持



他市の救命救急センター

ち住みたいと思うとのこと。当然と思う。高槻市茨木市・島本町が広域で設置した「三島救命救急センター」(建物・医療器具等含めて総額約17億円)で建設をその後行政は視察したか。

町長 私も命は大切と思つている。整備できれば最高だが、思うようにできない障害もある。

住民生活部長 まだ視察していない。

生ごみの戸別収集を早期に

問 生ごみを戸別収集しメタンガス等を発生させて、収集車の燃料として

有効利用している自治体もあるが。

環境経済部長 ごみは資源。有効なりサイクルが重要で、堆肥化、メタンガス化も不可欠だが、今後調査・研究する。

町長 山形県長井市での戸別収集は、住民の盛り上がりで成功している。

ISO14001のその後の成果は

問 グリーン購入のリストはあるか。

環境経済部長 エコ商品を購入し78%達成している。



尾川 悦子議員

Q 今、まちづくりが大切とすべきものは

A 町にかかわる「人」であると考えている

問 人と人のつながりからしっかりと自治体をつくっていく必要があると考えるが、人材育成を地域でどう進めていくのか。

住民生活部長 4月にオ

問 自然の中で、心やさしい人がたくさんいるこの町の一番良い所、人を活かせるまちづくりを町としてどのように考えているのか。

町長 猪名川町が他の都市に誇れるまち、地方分権の中で猪名川町らしいまちを創らないといけない。今後自治体間の競争も厳しくなってくる中で地域住民みんなが参画し、みんなが協働し、みんなが責任をもってまちづくりをすすめていくためには、それにかかわって頂く「人」が大事だと思つている。その「人」ということを考えながら、これからのまちづくりに努力していきたい。



ボランティアの人々で運営されるイベント

県全議員研究会に参加

11月13日、吉川町総合中央活動センターで県下66町の議員が参加のもと、県町議会議長会主催の全議員研究会が開催されました。

NHK解説委員・関西学院大学教授の藤田太寅氏から「日本経済の実状と将来展望」をテーマに、戦後50年を経た日本経済の歩みと厳しい実状についての講演がありました。



北摂津・丹波地区町議会議員研修会を開催

11月28日、本町中央公民館で氷上郡6町の議員とともに研修会を開催しました。

園田学園女子大学国際文化学部教授の野口克海氏から「これからの教育改革」をテーマに、学校・家庭・地域を含めた社会全体で教育改革を進めることが重要であるとの講演がありました。



こどもたちの声

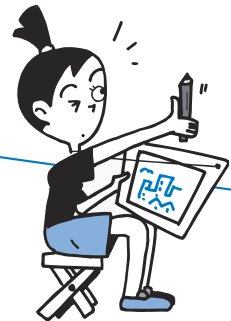
夕日の画家

猪名川小学校

4年

仲野

捺実



葉っぱのこえだ

真っ赤なこえだ

山々のこえだも

色をひける

真っ赤なこえだ

色をひける

葉っぱや山々、あざやかな

赤をそめてこえだのは

真っ赤な夕日

夕日は

天才

プロの画家

みんな画家のよう

ゴール前

大島小学校

2年

小林

光紀

さいしよ、おされてこけてけがをしたけど、おもいっきり走ると2いでした。きよ年の自分にかつてうれしかったです。前の子をぬかしてやろうとしたけど、はなされました。ゴール前でうしろの子にぬかれそうになった時、「こっさき！」とおかあさんがよんだら、力が出ました。



編集後記

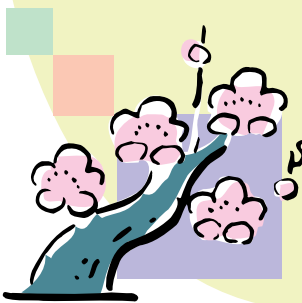
新年早々、火星探査車スピリットが火星に着陸し、顕微鏡、X線分光計の範囲から、360度パノラマカメラまでの映像を送ってくる。

実にスバラシイことである。

また議会も、町全域にある大小様々な、人々の思いを正しく把握、解決し、主権者に伝えねばならない。

一方、住民が、町の政策を自らのものとしてとらえ、町の政策づくりに積極的に関わることは、行政の質を変え、住民自治の新たな可能性を切り拓くことである。

その意味で、「議会だより」は、行政と住民の間的重要な情報のかけ橋です。どうぞ、紙面づくり、その他についてのご意見をお寄せください。



議会だより
県コンクールで
『奨励賞』

議会広報特別委員会のメンバー

兵庫県町議会議長会広報紙コンクールにおいて、「いながわ議会だより(第107号)」が『奨励賞』を受賞しました。これからも、わかりやすく、親しみやすい広報紙づくりに一層の努力をしてまいりますので、ご愛読をよろしくお願



新春を迎え
ごあいさつを申し上げます

猪名川町議会

- 議長 山口 昌
- 副議長 時崎 巖
- 議員 池上 哲、尾川 悦、切通 明、小坂 正、下坊 辰、新賀 保、関口 雄、中島 孝、島谷 八郎、西谷 澄、福井 榮、福井 昌、福井 長、福本 典、道上 善、道上 初、山崎 福

(50音順)



議会だよりは再生紙を使用し、地球環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。